

## 優良現場の紹介

1. 表彰年度：平成26年度
2. 事業場名：佐藤・熊谷・大日本建設工事共同企業体 向原作業所
3. 工事名：有楽町線 小竹向原・千川間連絡線設置 向原工区土木工事
4. 発注者名：東京地下鉄株式会社

5. 工事概要：東京地下鉄有楽町線と副都心線の平面交差を解消するため、小竹向原駅側連絡線と和光市(副都心線)方面とを結ぶ軌道連結部付近の地下構造物躯体の拡幅部構築工事である。

6. 埋設管状況：東電管路φ130×2条1段130m、NTT管路φ50×2条2段130m、水道管φ150mm他2系統150m、下水道管φ1200mm横断部35m、人孔3箇所、管種変更FRPM管700mm、40m等々は吊防護、塩ビ管φ300mm、95mは受け防護にて養生管理されている等非常に多岐に渡っている。

施工場所：東京都板橋区向原町



## 7. 表彰の対象となった具体的内容

- 1) 土留杭打設作業において、地下埋設物管理者との事前協議による切回しや管種変更及び埋設管露出による確認打設を適切に行っている。また、老朽化した埋設物については必要に応じて補強を実施する等、適切な防護及び養生がなされ、地下埋設物の事故防止措置が徹底されている。
- 2) 地下埋設物が掘削方向に多数かつ輻輳しているため、埋設物全体を確認管理できる点検通路を設置し、狭隘な場所へも安全な昇降が可能なように整備されている。また、各種埋設物の適切な維持管理に向けた点検体制が徹底されており、店社パトロールによる点検確認等、安全点検への取り組みが店社一体となり実施されている。
- 3) 作業所においては、日建連開催の地下埋設物事故防止講習会の講習内容を活用し、現場に即した事故防止を加味した作業手順教育が適切に実施されている。KY活動記録等も充実しており、協力会社に対して日々の地下埋設物事故防止への注意喚起等の指導教育が実施されている。
- 4) 緊急時の対応としては、各埋設物ごとに「事故発生時の措置（応急措置と復旧について）」を定め、所属職員や作業員に対して教育するとともに作業所内の各所に掲示しており、また緊急時の資材も適切に配備し、緊急時対応の徹底を図っている。
- 5) 本工事に対する近隣住民等の理解を深めるべく、連絡線展示室（インフォメーションセンター）を独自に開設し、鉄道模型等を使って工事概要等を分かりやすく展示しており、1万3千人余りの来場者を数えている。また、現場見学会等を積極的に開催することにより、都市土木工事のイメージアップに努めている。